

—— Driving Value Creation ——
**2019年3月期第3四半期
決算説明会資料**



MITSUI & CO.

2019年2月1日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画の進捗

2 経営成績の詳細

3 補足資料

4 セグメント別データ

1 中期経営計画の進捗

経営成績サマリー

- 資源・エネルギー堅調、当期利益、基礎営業キャッシュ・フローとも順調な進捗
- 今後の収益基盤強化と更なる成長への施策
 - 豪州Robe River JVの鉄鉱山新規鉱区開発決定
 - アジア最大手民間病院グループIHHの株式追加取得決定
 - タイにおける2.5GWのガス火力発電事業着工、アルゼンチン風力発電事業出資参画

	2018年3月期 第3四半期実績	2019年3月期 第3四半期実績	増減	2019年3月期 従来予想 (2018年10月公表)	進捗率
当期利益/四半期利益	3,768億円	3,501億円	▲267億円	4,500億円	78%
基礎営業キャッシュ・フロー*1	5,496億円	4,921億円	▲575億円	6,000億円	82%
フリー・キャッシュ・フロー*2	3,766億円	842億円 *3	▲2,924億円	—	—

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー（19/3期第3四半期：3,615億円）－ 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー（19/3期第3四半期：▲1,306億円）

*2. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

*3. 19/3期より、従来運転資本と認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素（キャッシュ・イン352億円、キャッシュ・アウト581億円）は除外して計算

Valeによる配当見送りを織込み、通期業績予想を以下の通り修正

- 当期利益 4,400億円（従来予想比▲100億円）
 - 基礎営業キャッシュ・フロー 5,900億円（同▲100億円）
- 年間配当金は一株当たり80円で据え置き

重点施策 強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化

中核分野

- 金属資源・エネルギー：LNG受取配当金、コスト減少等によりエネルギー事業好調
- 機械・インフラ：概ね予定通り
- 化学品：Novusメチオニン価格低迷

当期/四半期利益

	第3四半期実績	従来予想*	進捗率
金属資源・エネルギー	2,145	2,650	81%
機械・インフラ	555	750	74%
化学品	233	400	58%
中核分野 合計	2,933	3,800	77%
全社 合計	3,501	4,500	78%

基礎営業キャッシュ・フロー (単位：億円)

第3四半期実績	従来予想*	進捗率
3,435	4,000	86%
579	750	77%
399	600	67%
4,413	5,350	82%
4,921	6,000	82%

* 2018年10月公表

既存事業の徹底強化

- 豪州Robe River JVにおける鉄道自動運行システム（AutoHaul®）本格運用開始
- LNGトレーディングの強化
- 産業・建設機械関連事業好調
- 豪州ベンガラ炭鉱（一般炭）の持分売却合意

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

キャッシュ・フロー・アロケーション実績（2019年3月期第3四半期）

■ 投融資・資産リサイクルとも概ね計画通り

		2018年3月期 年間実績	2019年3月期 第3四半期実績	3年間累計 (2018年3月期～2020年3月期) 今回修正
キャッシュ・イン	基礎営業キャッシュ・フロー*1...①	6,700億円	4,900億円	18,900億円
	資産リサイクル...②	3,000億円	1,500億円	8,000億円
キャッシュ・アウト	投融資...③	▲5,600億円	▲5,600億円*4	▲19,000～▲21,000億円
	株主還元*2...④	▲1,725億円	▲700億円	▲4,500億円
株主還元後のフリー・キャッシュ・フロー*3 ...①+②+③+④		2,375億円	100億円	1,400～3,400億円

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー

*2. 3年間累計の数字において、最終年度には本年度と同規模の還元を前提として算入

*3. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー
今期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

*4. 第2四半期実績を約140億円減額（詳細は2019年2月1日付「(訂正)」2019年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)」をご参照ください

経営判断による配分

追加株主還元

有利子負債の返済

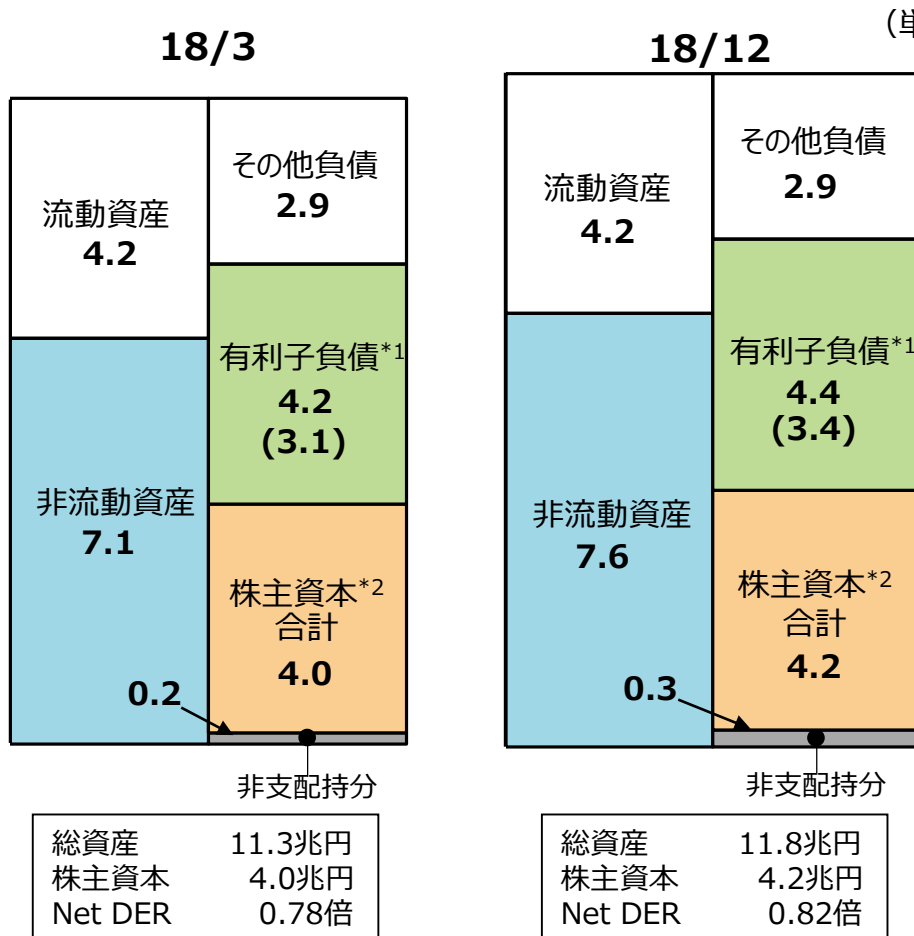
追加投資



重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

バランスシート

- 株主還元後フリー・キャッシュ・フロー黒字化により、有利子負債の水準を管理する方針に変更なし



主な増減

ネット有利子負債（18/3末比：+3,316億円）

株主資本（18/3末比：+1,998億円）

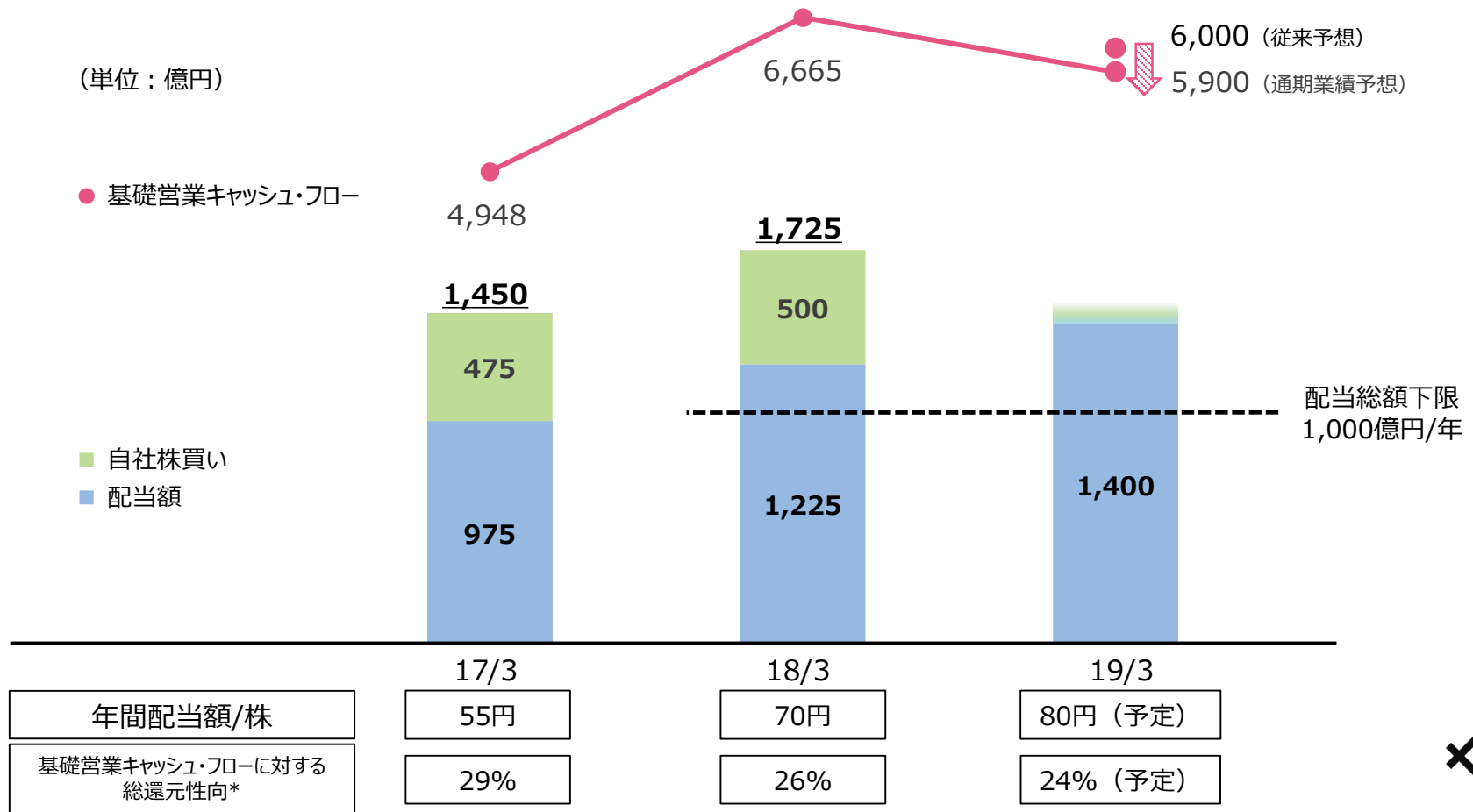
- ・ 第3四半期利益： +3,501億円
- ・ 外貨換算調整勘定： ▲557億円
- ・ FVTOCIの金融資産： +247億円
- ・ 配当金の支払： ▲1,390億円
- ・ その他： +197億円

*1. 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。

株主還元方針

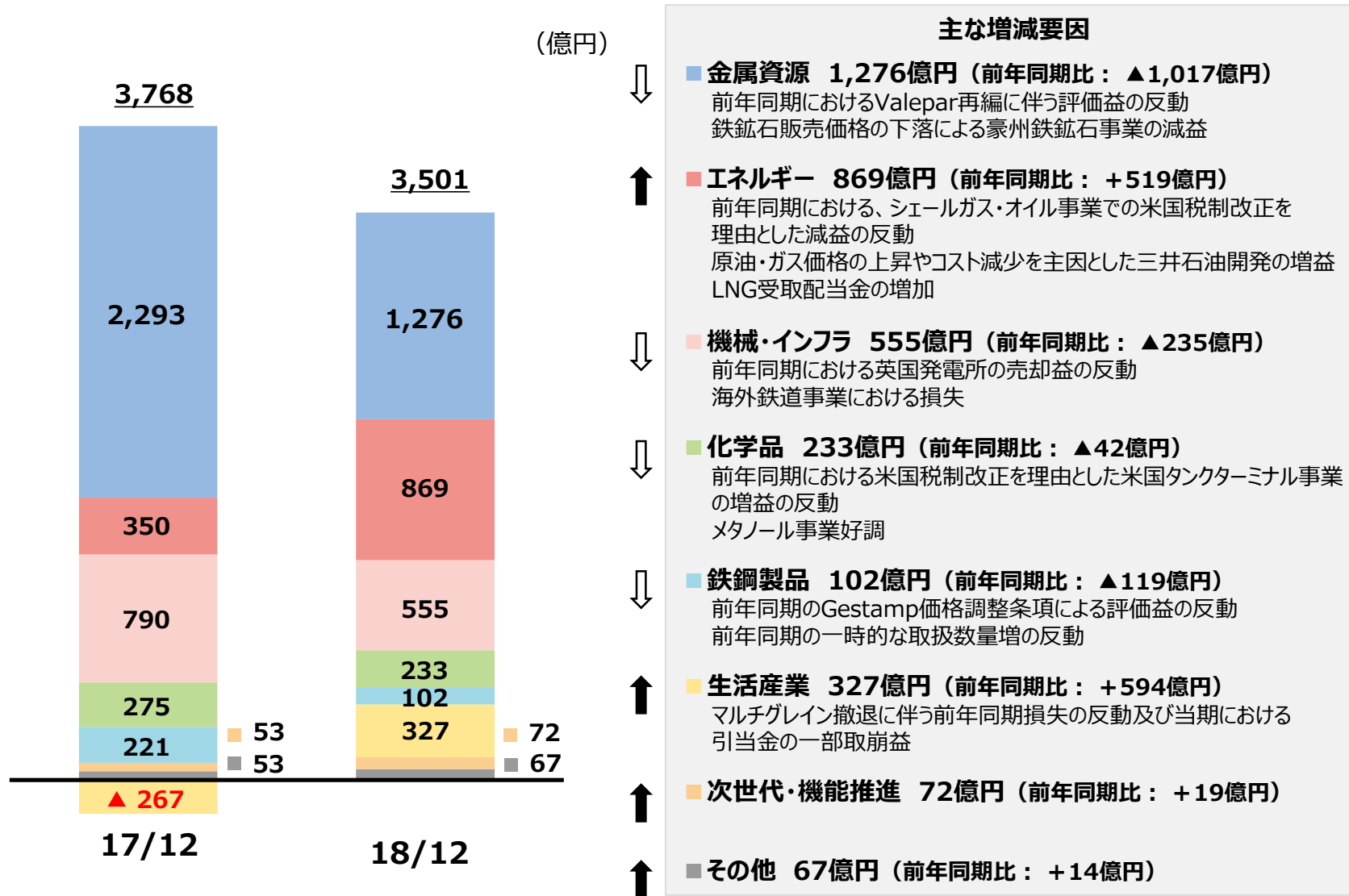
- 2019年3月期の予想配当金は一株当たり80円で据え置き
- 業績の向上を通じた配当金額の継続的増加と、2020年3月期ROE 10%達成の為の施策を継続



2 経営成績の詳細

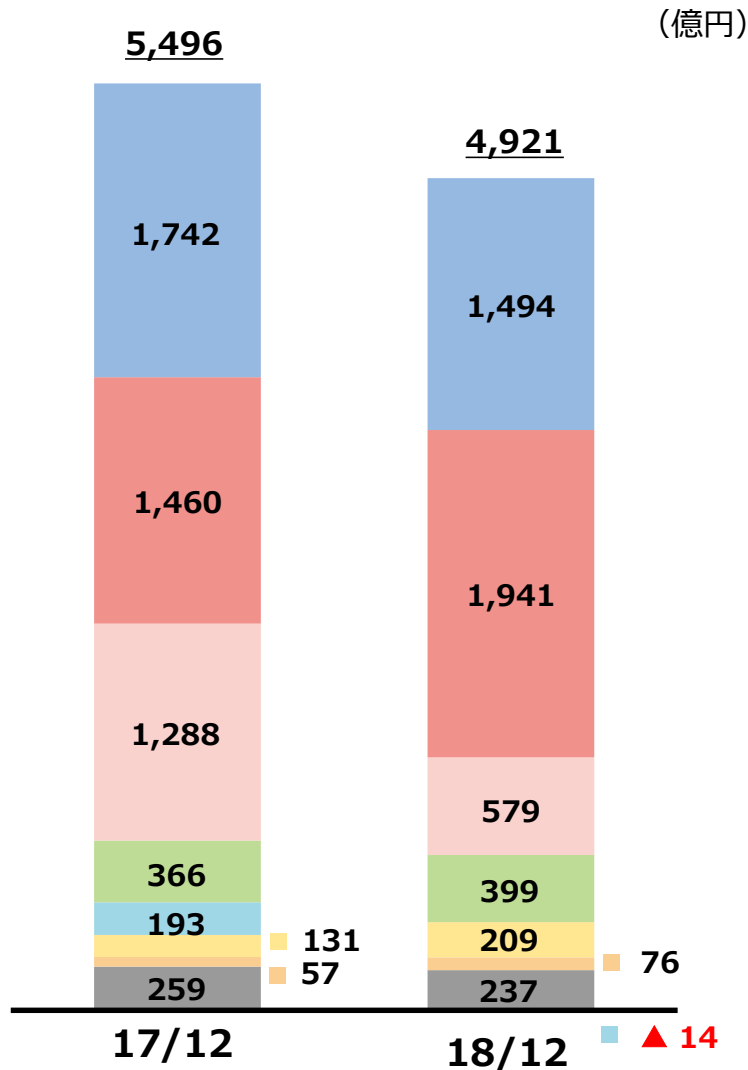
四半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 四半期利益3,501億円、前年同期比▲267億円



基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー4,921億円、前年同期比▲575億円

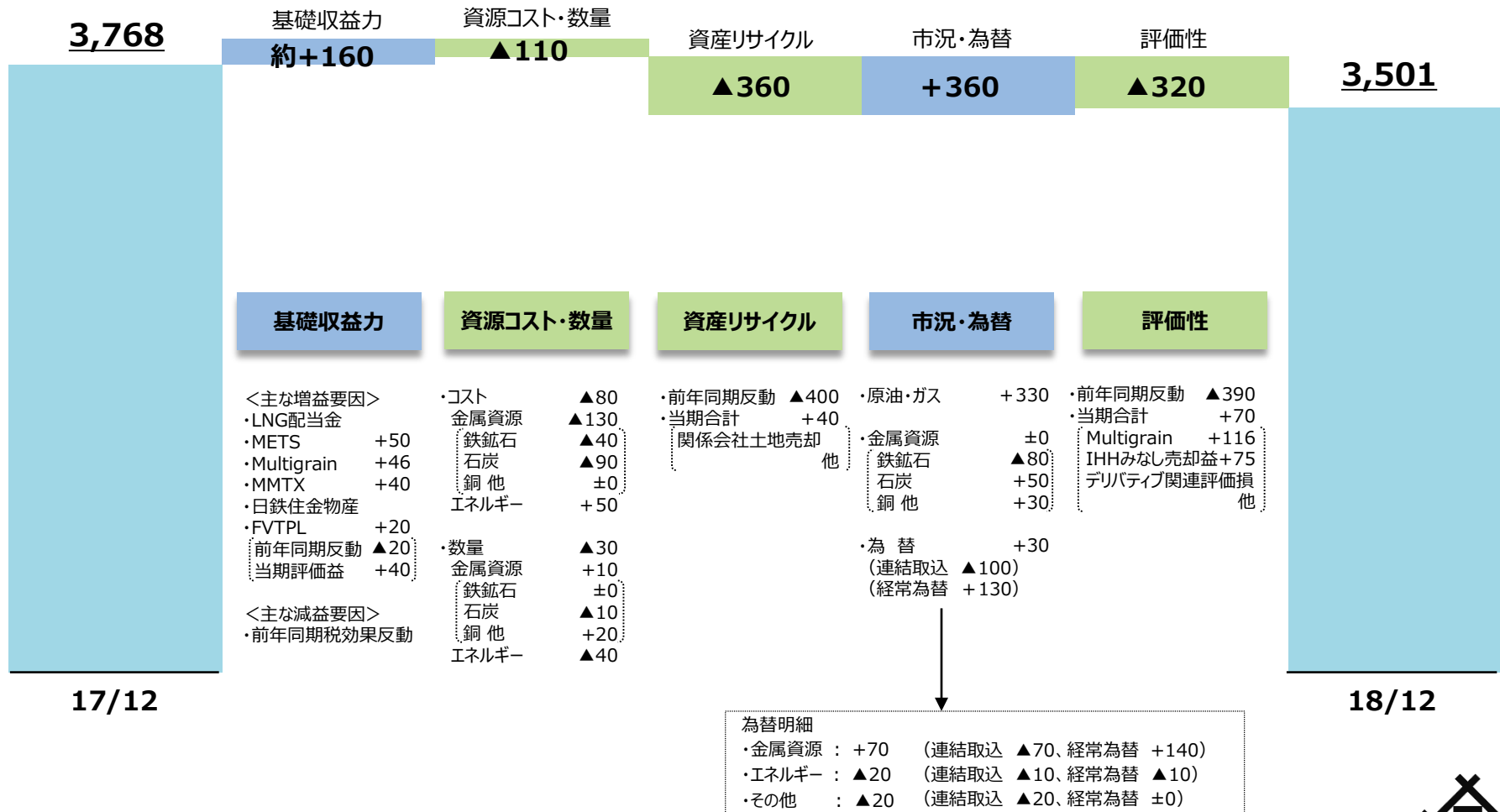


主な増減要因

- ↓ **金属資源 1,494億円 (前年同期比 : ▲248億円)**
 豪州石炭事業における採掘計画変更に伴う操業費の上昇
 鉄鉱石販売価格の下落
- ↑ **エネルギー 1,941億円 (前年同期比 : +481億円)**
 原油・ガス価格上昇や受取配当金の増加
- ↓ **機械・インフラ 579億円 (前年同期比 : ▲709億円)**
 前年同期におけるIPP事業からの受取配当金の増加の反動
- ↑ **化学品 399億円 (前年同期比 : +33億円)**
 メタノール価格上昇に伴う売上総利益の増加
- ↓ **鉄鋼製品 ▲14億円 (前年同期比 : ▲207億円)**
 前年同期のGestamp価格調整条項による評価益の反動
 前年同期の一時的な取扱数量増の反動
- ↑ **生活産業 209億円 (前年同期比 : +78億円)**
 マルチグレイン撤退に伴う前年同期不調の反動
- ↑ **次世代・機能推進 76億円 (前年同期比 : +19億円)**
- ↓ **その他 237億円 (前年同期比 : ▲22億円)**

四半期利益 要素別増減要因

(単位：億円)



重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

資産リサイクル・投融資実績*1（2019年3月期第3四半期）

■ 中核分野に68%、成長分野に36%を配分

	金額	主な案件*3
資産リサイクル*2	1,500億円	【鉄鋼製品】日鉄住金物産への事業譲渡 【生活産業】ニュージーランド乳製品製造・販売会社の株式売却、MIMS株式売却
投融資*2	▲5,600億円	主な案件*3
中核分野 (含む成長分野との重複600億円)	▲3,800億円	【金属資源】豪州鉄鉱石・石炭事業 【エネルギー】豪州AWE社株式公開買付け、タイ沖石油・ガス開発事業 【機械・インフラ】石油製品輸送船保有会社出資、モロッコ発電事業向け融資、ブラジルFPSO 【化学品】米国タンクターミナル事業、 欧州塗料製造事業出資
成長分野 (含む中核分野との重複600億円)	▲2,000億円	【モビリティ】チリオペレーティングリース・レンタカー事業出資 【N&A】ETC Group出資、東南アジア総合食品事業会社株式取得 【リテール・サービス】MREシニア住宅取得、 尼国消費者関連事業会社社債引受
その他	▲400億円	三井物産都市開発の再開発事業

*1. 今期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

*2. 定期預金の増減は除く

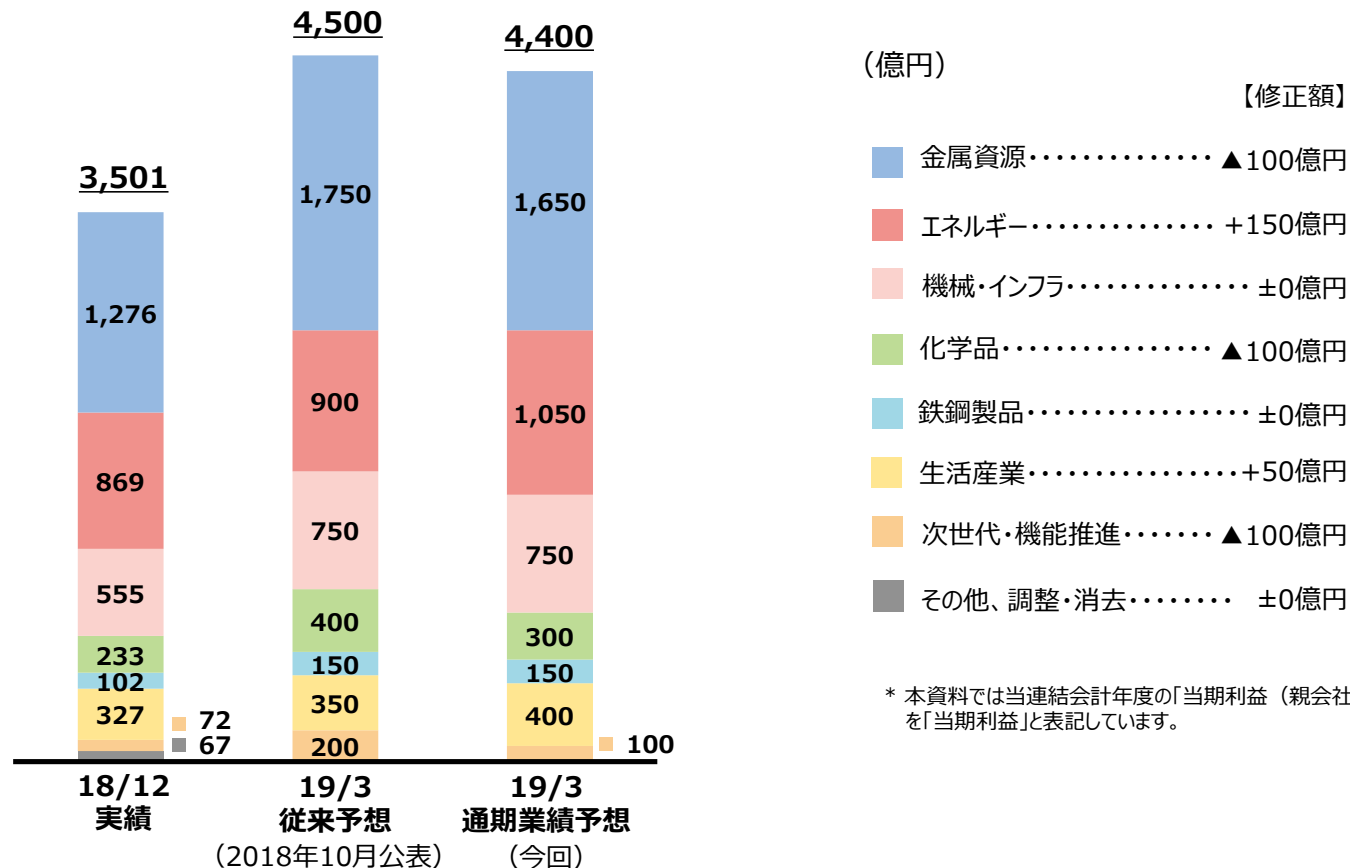
*3. 青字は、第3四半期に新たに資産リサイクルにより資金獲得、または投融資を実行した案件
各案件の金額については4.セグメント別データをご参照ください

2019年3月期 業績予想（セグメント別）

当期利益*：4,400億円に修正（従来予想比▲100億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■ 金属資源	:	▲100億円	Vale配当減少
■ 化学品	:	▲100億円	メチオニン価格低迷
■ 次世代・機能推進	:	▲100億円	株価下落を主因としたFVTPL損失
■ エネルギー	:	+150億円	コスト減少・数量増、ガス価格上昇

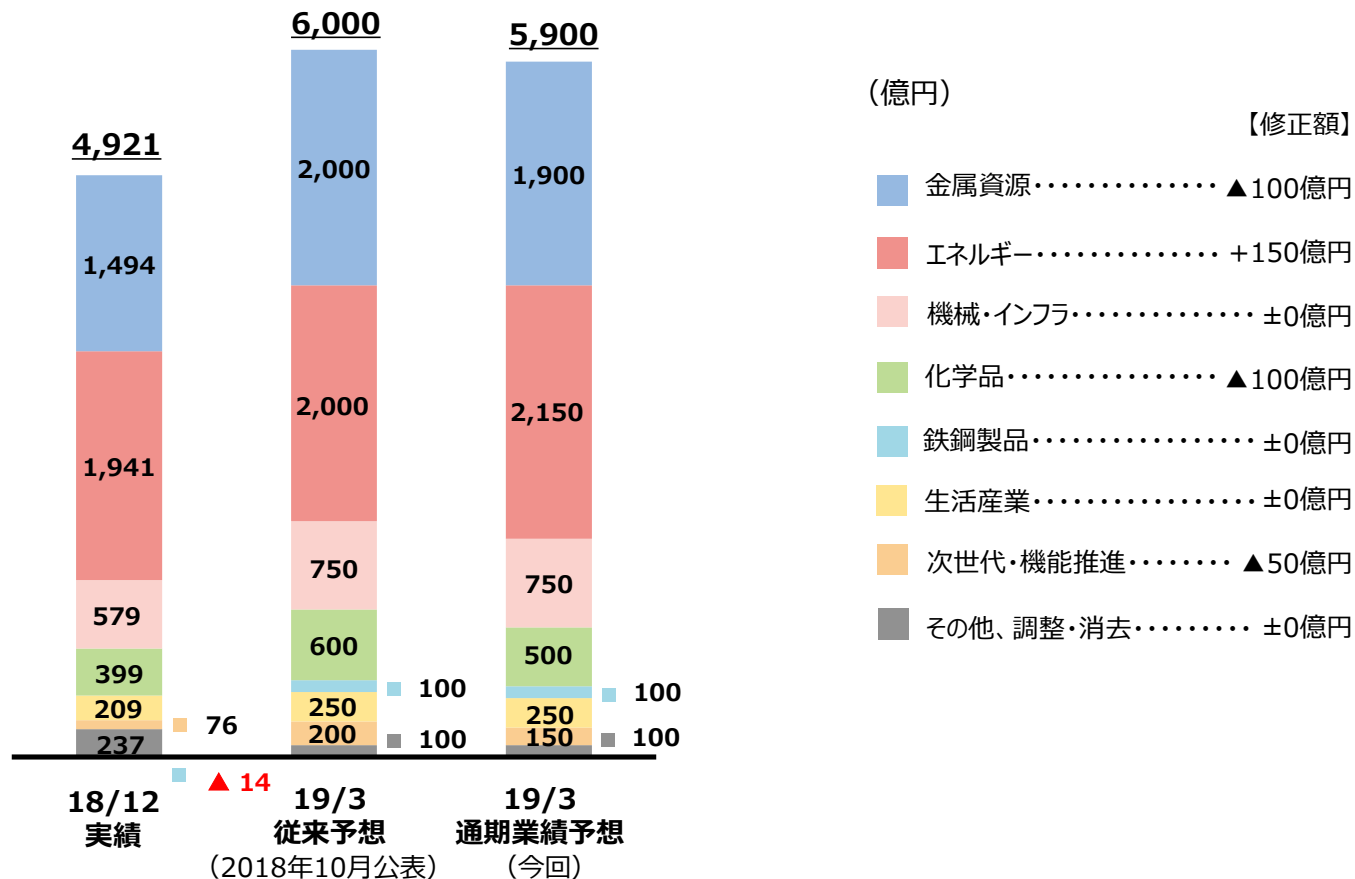


2019年3月期 業績予想（セグメント別）

基礎営業キャッシュ・フロー：5,900億円に修正（従来予想比▲100億円）

<セグメント別の修正額及び理由>

■ 金属資源	:	▲100億円	Vale配当減少
■ 化学品	:	▲100億円	メチオニン価格低迷
■ 次世代・機能推進	:	▲ 50億円	株価下落を主因としたFVTPL損失
■ エネルギー	:	+150億円	数量増、ガス価格上昇



3 補 足 資 料

前提条件および感応度

価格変動の19/3期当期利益への影響額 (2018年5月公表)			19/3期従来予想 (2018年10月公表)	19/3期 3Q累計 (実績)	19/3期 4Q (前提)	19/3通期予想 (3Q累計・4Q平均値) (2019年2月公表)
市況商品	原油/JCC	—	71	74	66	72
	連結油価(*1)	29 億円 (US\$1/バレル)	70	70	73	70
	米国ガス(*2)	5 億円 (US\$0.1/mmBtu)	2.88	2.85(*3)	3.74(*4)	3.07
	鉄鉱石	23 億円 (US\$1/トン)	(*5)	68(*6)	(*5)	(*5)
	銅	10 億円 (US\$100/トン)	6,708	6,645(*7)	6,168	6,525
為替(*8)	米ドル	26 億円 (¥1/米ドル)	110.35	111.33	110.00	111.00
	豪ドル	17 億円 (¥1/豪ドル)	80.90	81.36	80.00	81.02
	伯レアル	7 億円 (¥1/伯レアル)	29.51	29.20	30.00	29.40

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。
19/3期には51%が4～6ヵ月遅れで、40%が1～3ヵ月遅れで、9%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクト。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) 米国ガスの19/3期3Q累計実績欄には、2018年1月～9月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*4) HH連動の販売価格は、2018年10月～12月のHH価格の平均値 (US\$3.74/mmBtu) を前提として使用している。

(*5) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

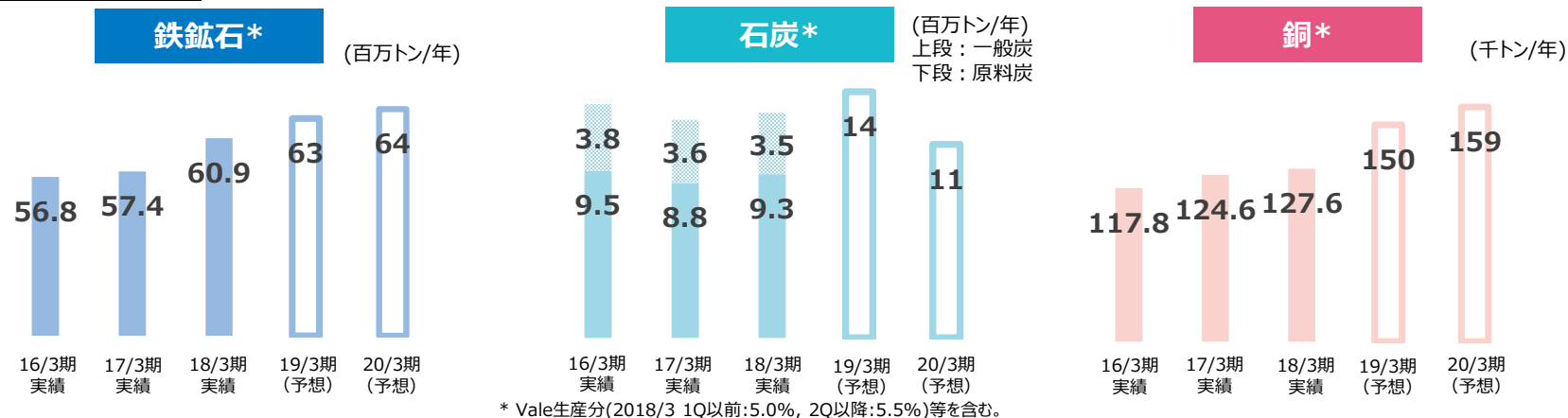
(*6) 鉄鉱石の19/3期3Q累計実績欄には、2018年4月～12月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値 (参考値) を記載。

(*7) 銅の19/3期3Q累計実績欄には、2018年1月～9月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*8) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。
金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯レアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

金属資源：持分権益生産量および生産量実績

持分権益生産量 (2018年5月公表)

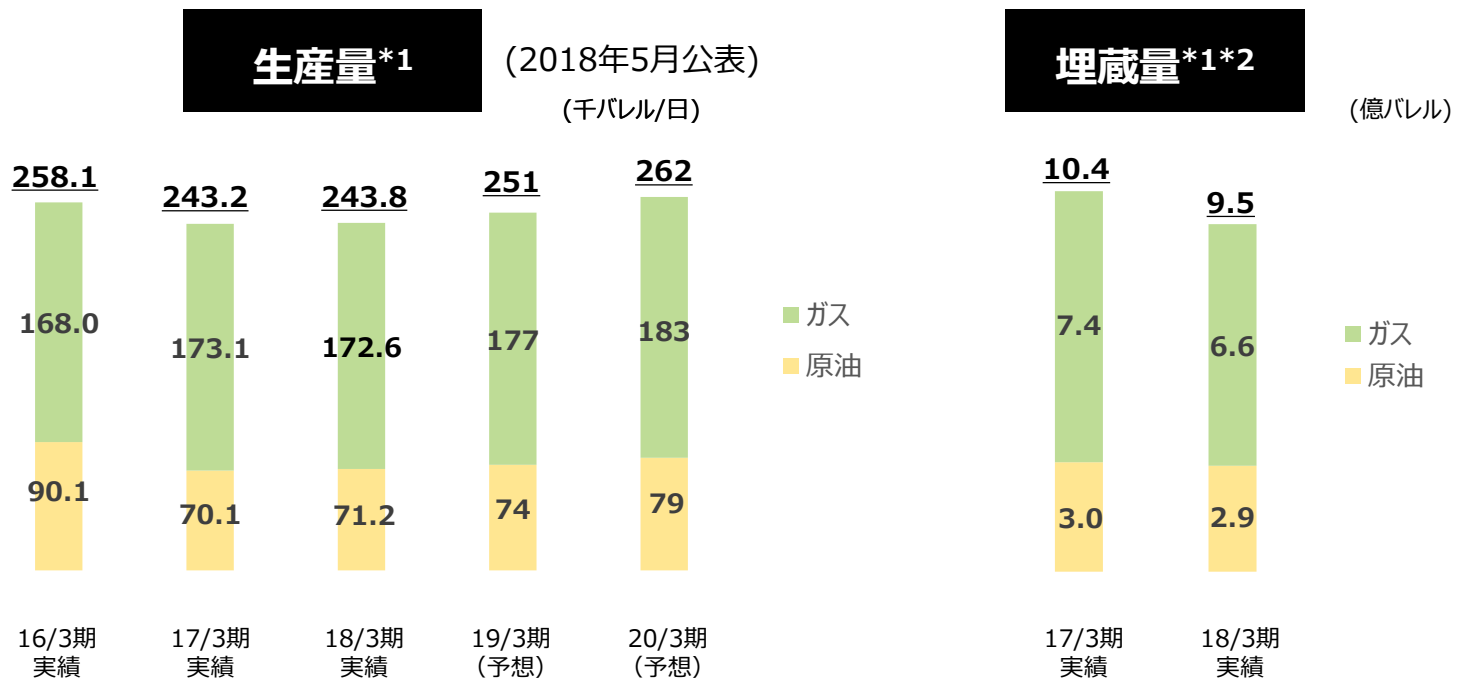


生産量実績

	2018年3月期					2019年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.3	15.3	15.9	15.4	60.9	14.8	15.3	15.8	45.9
豪州鉄鉱石	10.0	10.3	10.7	10.3	41.3	10.3	10.0	10.0	30.3
Vale* ¹	4.3	5.0	5.2	5.1	19.6	4.5	5.3	5.8	15.6
石炭*² (百万トン)	3.1	3.5	3.2	3.0	12.8	3.1	3.5	3.7	10.3
MCH	2.1	2.4	2.0	1.7	8.2	2.1	2.1	2.1	6.3
BMC* ¹	0.4	0.4	0.4	0.5	1.7	0.5	0.6	0.5	1.6
原料炭	1.9	2.1	1.7	1.7	7.4	2.0	2.0	1.9	5.9
一般炭	0.6	0.7	0.7	0.5	2.5	0.6	0.7	0.7	2.0
Moatize* ¹	0.3	0.4	0.5	0.4	1.6	0.3	0.4	0.5	1.2
銅*^{1, 2} (千トン)	32.2	28.4	33.5	33.5	127.6	36.5* ³	35.8	38.3	110.6

*¹ Vale、BMC、Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績*² Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%)等を含む。*³ 2018年10月修正(1Q:36.0→36.5)

エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



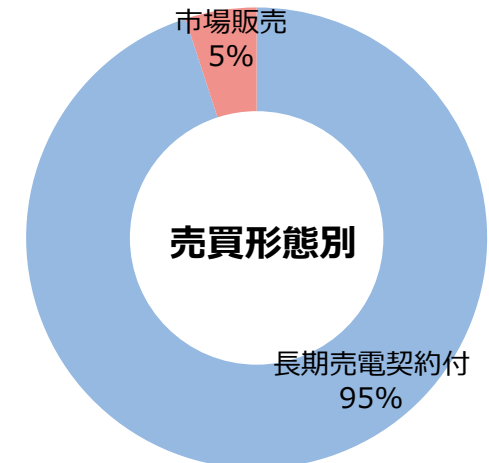
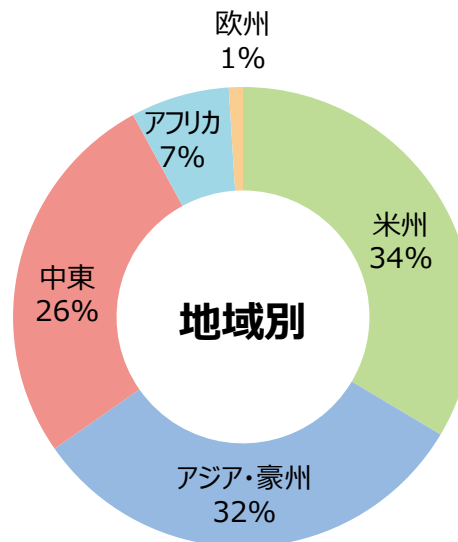
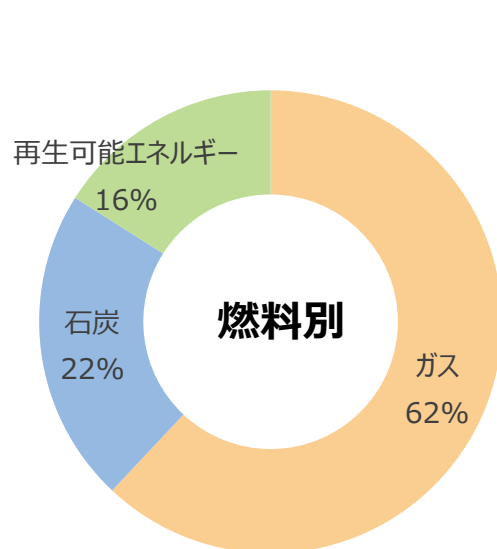
*1. 石油換算
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

*2. 当社独自の基準による

機械・インフラ：発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**9.1GW**
（グロス容量：34GW）

2018年9月末現在



重点施策 新たな成長分野の確立

2019年3月期上半期実績

	案件名	当社狙い
ヘルスケア	■ 米国Thorne社への出資参画合意	高機能サプリメント事業の拡大
ニュートリション・アグリカルチャー	■ メキシコAdelnor社への出資参画合意	米州農業資材Distribution事業拡充
	■ タイKSP社増産及びシンガポールSIS社への出資参画合意	アジアにおける高品質砂糖ニーズへの対応
リテール・サービス	■ MRE社によるサービス付きシニア向け住宅取得	米国におけるシニア住宅事業強化

4 セグメント別データ

金属資源

Vale配当減少を主因にPAT、CF共に下方修正

(単位：億円)

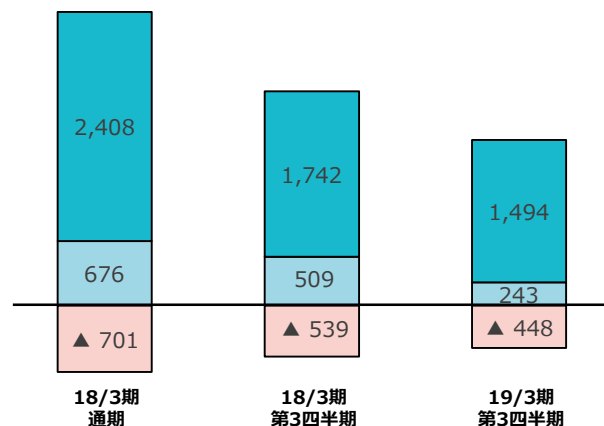
業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	2,293	1,276	▲1,017	1,650	77%	1,750	
売上総利益	1,616	1,359	▲257				↓豪鉄鉱石（鉄鉱石販売価格下落） ↓豪石炭（コスト上昇）
持分法損益	485	452	▲33				↓Valepar再編
受取配当金	90	168	+78				↑Vale配当
販管費	▲243	▲250	▲7				
その他	345	▲453	▲798				↓前年同期のValepar再編に伴う評価益の反動
基礎営業キャッシュ・フロー	1,742	1,494	▲248	1,900	79%	2,000	
総資産	22,601*1	21,979	▲622				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件
 19/3期第3四半期：(OUT)豪州鉄鉱石事業▲163
 豪州石炭事業▲124

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*3	818	781	▲37	1,104
	豪州石炭事業*3	376	349	▲27	463
持分法	モザンビーク石炭及び 鉄道・港湾インフラ事業	▲16	24	+40	26
	Oriente Copper Netherlands	27	▲5	▲32	26
	三井物産カッパー・インベストメント	▲40	▲20	+20	▲226
	Japan Collahuasi Resources	32	62	+30	63
	オールドス電力冶金	38	33	▲5	51

*3. 一部損益は持分法により取込

エネルギー

コスト減少・数量増及びガス価格上昇を主因にPAT上方修正
数量増及びガス価格上昇を主因にCF上方修正

(単位：億円)

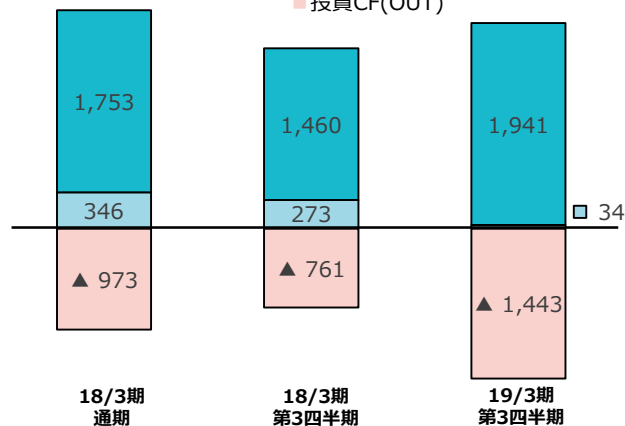
業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	350	869	+519	1,050	83%	900	
売上総利益	681	1,099	+418				↑三井石油開発（原油・ガス価格上昇） ↑METS（前年同期の損失反動、トレーディング好調）
持分法損益	168	265	+97				↑MIMI（原油・ガス価格上昇）
受取配当金	443	546	+103				↑LNGプロジェクト6案件
販管費	▲318	▲337	▲19				
その他	▲624	▲704	▲80				↓税前利益増加に伴う法人税負担増 ↑前年同期の米国税制改正反動
基礎営業キャッシュ・フロー	1,460	1,941	+481	2,150	90%	2,000	
総資産	20,838*1	24,778	+3,940				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

■基礎営業CF
■投資CF(IN)
■投資CF(OUT)



主な投融资/リサイクル案件
19/3期第3四半期：(OUT)石油・ガス開発事業▲787(シェール以外)
豪州AWE社株式公開買付け▲482

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	三井石油開発*3	62	172	+110	115
	Mitsui E&P Australia	45	7	▲38	39
	Mitsui E&P Middle East	29	50	+21	35
	Mitsui E&P USA	49	55	+6	58
	MEP Texas Holdings	36	60	+24	50
	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲20	▲11	+9	▲34
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	▲32	18	+50	▲44
	Japan Australia LNG (MIMI)*4	-	-	-	-
持分法					

*3. 一部損益は持分法により取込 *4. 守秘義務契約により業績非開示

機械・インフラ

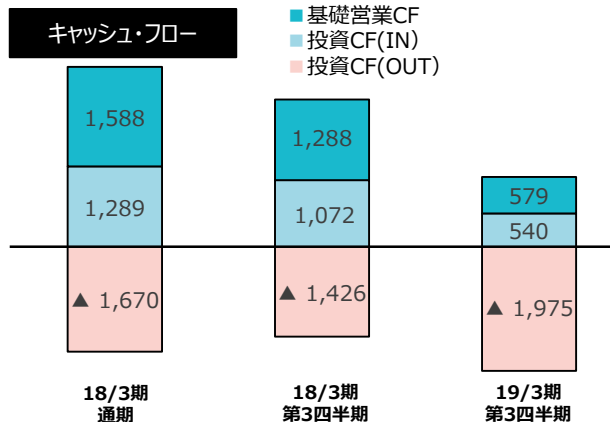
PAT、CF共に据え置き

(単位：億円)

業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	790	555	▲235	750	74%	750	
売上総利益	919	976	+57				
持分法損益	807	630	▲177				↓ 前年同期における英国発電所の売却益の反動 ↑ 前年同期における中南米融資引当金の反動
受取配当金	27	42	+15				
販管費	▲905	▲927	▲22				
その他	▲58	▲166	▲108				↓ 前年同期における未分配税効果取崩益の反動
基礎営業キャッシュ・フロー	1,288	579	▲709	750	77%	750	
総資産	23,646*1	24,200	+554				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率



主な投融資/リサイクル案件

19/3期第3四半期：(OUT)航空関連リース事業▲188
 モロッコ発電事業向け融資▲167
 石油製品輸送船保有会社出資
 Penske Truck Leasingの持分取得に係る未払金支払
 ブラジルFPSO
 チリオペレーティングリース・レンタカー事業出資

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	31	15	▲16	42
	鉄道車輛リース事業会社*3	35	22	▲13	45
	産機・建機関連事業*3	32	51	+19	47
持分法	IPP事業関連会社	384	178	▲206	464
	FPSO/FSOリース事業関連会社	80	60	▲20	91
	ガス配給事業	54	51	▲3	77
	Penske Automotive Group	80	65	▲15	111
	トラックリース・レンタル事業会社	32	45	+13	43
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	57	55	▲2	82
	VLI	20	16	▲4	23

*3. 一部損益は持分法により取込

化学品

メチオニン価格低迷によりPAT、CF共に下方修正

(単位：億円)

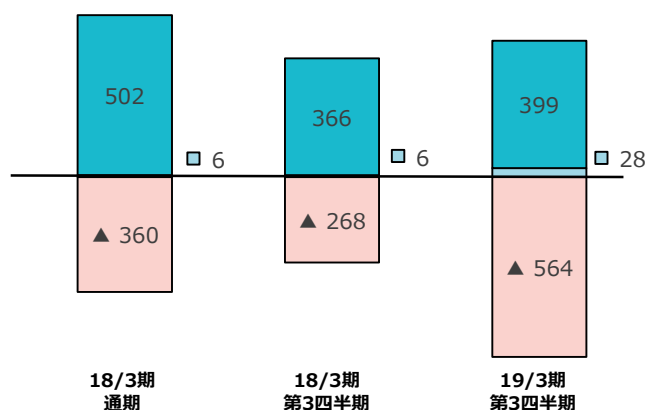
業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	275	233	▲42	300	78%	400	
売上総利益	1,041	1,068	+27				↑ MMTX (メタノール価格上昇) ↓ Novus (メチオニン価格低迷)
持分法損益	78	100	+22				
受取配当金	19	25	+6				
販管費	▲730	▲749	▲19				
その他	▲133	▲211	▲78				↓ 前年同期における米国税制改正の反動
基礎営業キャッシュ・フロー	366	399	+33	500	80%	600	
総資産	12,288*1	12,741	+453				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件

19/3期第3四半期：(OUT)米国タンクターミナル事業▲126

欧州塗料製造事業▲123

ETC Group出資

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	MMTX	24	64	+40	29
	Intercontinental Terminals Company	120	47	▲73	133
	三井物産プラスチック	30	29	▲1	38
	Novus International	2	▲8	▲10	5
	Mitsui AgriScience(欧米)	9	5	▲4	17
持分法	日本アラビアメタノール	21	23	+2	23

鉄鋼製品

PAT、CF共に据え置き

(単位：億円)

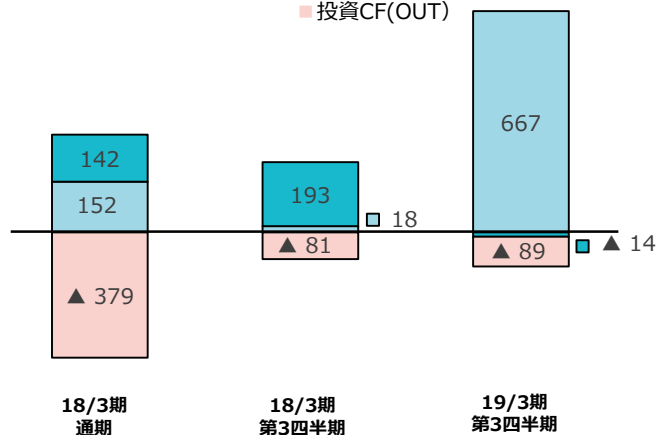
業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	221	102	▲119	150	68%	150	
売上総利益	333	207	▲126				↓三井物産スチール（事業譲渡） ↓前年同期の一時的な取扱数量増の反動
持分法損益	100	146	+46				↑日鉄住金物産持分法適用会社化
受取配当金	22	15	▲7				
販管費	▲242	▲211	+31				
その他	8	▲55	▲63				↓前年同期Gestamp関連デリバティブ評価益の反動 ↑関係会社土地売却
基礎営業キャッシュ・フロー	193	▲14	▲207	100	-	100	
総資産	6,803 *1	6,084	▲719				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

■ 基礎営業CF
■ 投資CF(IN)
■ 投資CF(OUT)



主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	三井物産スチール	50	32	▲18	61
持分法	日鉄住金物産*3	-	-	-	-
	Game Changer Holdings	40	29	▲11	67
	Gestamp事業会社	28	20	▲8	39

*3. 上場会社の決算発表前により業績非開示

主な投融資/リサイクル案件

19/3期第3四半期：(IN)日鉄住金物産への事業譲渡+644

生活産業

IHH社の為替損益改善を主因にPAT上方修正、CFは据え置き

(単位：億円)

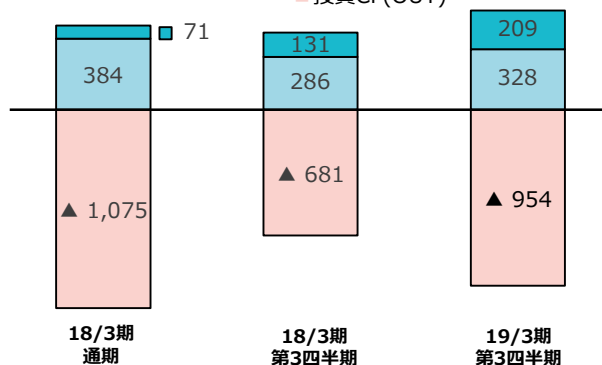
業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	▲267	327	+594	400	82%	350	
売上総利益	1,071	1,182	+111				↑マルチグレインの前年同期不調の反動
持分法損益	183	206	+23				
受取配当金	40	48	+8				
販管費	▲1,125	▲1,138	▲13				
その他	▲436	29	+465				↑前年同期のマルチグレイン関連損失の反動 ↑今期におけるマルチグレイン事業撤退関連引当金の取崩益
基礎営業キャッシュ・フロー	131	209	+78	250	84%	250	
総資産	19,873*1	21,562	+1,689				

*1 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件

19/3期第3四半期：(IN)ニュージーランド乳製品製造・販売会社の株式売却+120
MIMS売却+115
(OUT)MREシア住宅取得▲287
東南アジア総合食品事業会社株式取得▲118
三井物産都市開発の再開発事業▲108

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	Multigrain Trading*3	▲461	122	+583	▲477
	三井農林	29	6	▲23	28
	国内流通関連事業会社	53	42	▲11	66
	三井物産都市開発	29	7	▲22	28
持分法	三井製糖	25	17	▲8	33
	WILSEY FOODS	34	26	▲8	34
	IHH Healthcare Berhad	13	0	▲13	16
	PHCホールディングス*4	-	-	-	-
	エームサービス	19	20	+1	23

*3. Multigrain Tradingは2019年3月期1Qで連結損益取込を終了

*4. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

次世代・機能推進

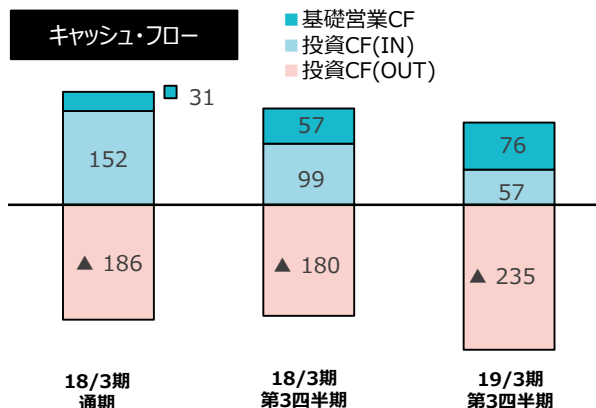
株価下落を主因としたFVTPL損失によりPAT、CF共に下方修正

(単位：億円)

業績	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	19/3期 通期業績予想	進捗率*2	19/3期 従来予想	増減理由
四半期利益	53	72	+19	100	72%	200	
売上総利益	415	427	+12				↑ 前年同期の新興国携帯通信事業FVTPL損失の反動 ↓ Hutchison China MediTech (FVTPL)
持分法損益	64	78	+14				
受取配当金	26	28	+2				
販管費	▲378	▲382	▲4				
その他	▲74	▲79	▲5				↓ 前年同期の国内倉庫売却益反動
基礎営業キャッシュ・フロー	57	76	+19	150	51%	200	
総資産	6,622*1	7,412	+790				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率



主要関係会社業績

	会社名	18/3期 第3四半期	19/3期 第3四半期	増減	18/3期 通期
連結	三井情報	9	19	+10	21
	三井物産グローバルロジスティクス	20	23	+3	23
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	14	10	▲4	20
持分法	Asia Pacific Mobile	▲44	▲37	+7	▲50
	QVC ジャパン*3	-	-	-	52
	JA三井リース	29	22	▲7	40
	SABRE INVESTMENTS*3	-	-	-	-

*3. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

主な投融資/リサイクル案件

19/3期第3四半期：(OUT)カンボジア携帯通信事業▲101

360° business innovation.



MITSUI & CO.